

やまて小児科が十一月八日あいぱーく光

「アレルギーっ子の会」百回記念講演会

先着百人にアレルギー対応クッキー

浅江一丁目、やまて小児科・アレルギー科（山手智夫院長）で開かれている『アレルギー

っ子の会』が百回目を迎える。記念講演会が十一月八日（土）午後三時五時、あいぱーく光健診ホールで開かれる。

のストレス解消にもつながっていることを知り、平成十六年十月、やまて小児科を開院して間もなく『アトピーの会』をスタートした。

アレルギーの子供を持つ家族なら誰でも参加できる。講師は同病院栄養士の光井智美さんが務めている。

山手院長の息子がアトピー性皮膚炎で、同じ悩みを持つ家族が集まる会に参加したとき、病院では補えない情報交換の大切さや、家族

現在は『アレルギーっ子の会』と名称変更し、毎月第四水曜の午前十時～正午に開いている。写真。やまて小児科の患者に関わらず、

県内には同様の会がないため、光市内外から毎回十人前後が参加。アットホームな雰囲気の中で、食物アレルギーについて学んだり、アレルギー対応食の調理



法、生活環境のアレルギーなど、幅広いテーマで意見交換している。悩みが解消され、明るい表情になって帰るお母さんも多いという。

忙の中、光井さんと山手院長の熱意で講演会が実現。『食物アレルギー』とともに知って、学んで・育てる』と題して話す。

『アレルギーっ子の会』百回目を記念した講演会の講師は、食物アレルギーの子を持つ親の会代表の武内澄子さん（東京在住）。厚生労働省アレルギー表示研究班代表委員を務めるなど、経験豊富なお母さんで、多